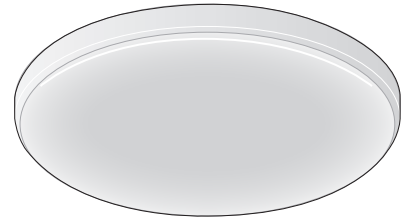


お客様へ

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に、よくお読みの上ご使用ください。その後は保管し、  
必要なときにお読みください。

工事店様へ

この説明書は、必ずお客様にお渡しください。



## 安全上のご注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。  
内容をよく理解して記載事項をお守りください。

### 警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく  
可能性のあるもの

<p>禁止</p>	<p>次のような場所には取り付けない 落下してけがをする原因になります。</p> <p>傾斜天井 変形天井 補強のない天井 (ベニヤ板・石膏ボードなど) 壁面 凸凹のある天井 格子天井・サオブチ天井</p> <p>※この器具は水平天井専用です。</p>	<p>禁止</p>	<p>次のような配線器具には取り付けない 感電・火災・落下してけがをする原因になります。</p> <p>ひび割れ 欠け 破損しているもの 斜めに取り付けられた配線器具 ケースウェイについているもの</p> <p>電源端子露出タイプ ぐらつくもの 配線だけのもの</p>
	<p>取り付けは確実に 落下、破損、けがの原因になります。本書にしたがい確実に取り付けてください。</p>		<p>配線器具の交換が必要です。工事店や電器店にご依頼ください。 (配線器具交換には電気工事士の資格が必要です。)</p>
	<p>交流 100V で使用する 過電圧を加えると過熱して、火災や感電の原因になります。</p>		<p>器具のすき間から金属類など異物を入れない 感電・故障の原因になります。</p>
<p>分解禁止</p>	<p>器具の改造や部品交換をしない 火災・感電・落下してけがをする原因になります。</p>		<p>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない 感電・ショート、発火の原因になります。</p>

●異常を感じたら、すぐに電源を切る 異常が収まったことを確認して、販売店またはお客様相談室にご相談ください。

### 注意

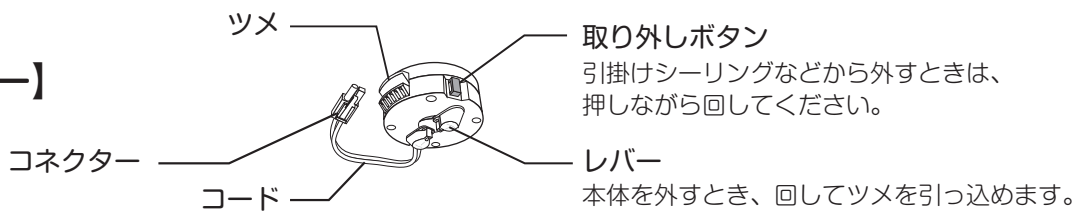
誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害に  
結びつくもの

<p>必ず守る</p>	<p>照明器具には寿命があり、設置して 8 ~ 10 年経過すると、外観に異常がなくても内部の劣化が進行していますので、点検または交換してください。 点検せずに長期間使い続けると、火災・感電・落下する原因になります。 ◆1年に1回は点検してください。(「安全チェックシート」を参考に行ってください。)</p>	
<p>禁止</p>	<p>●ストーブなど高温になるものを器具の真下に置かない ●布や紙など燃えやすいものを器具にかぶせない 火災の原因になります。 ●調光器と併用しない 調光器の取外しが必要です。工事店や電器店にご依頼ください。(取り外しには資格が必要です。)</p>	<p>禁止</p>
		<p>●点灯中や消灯直後は器具にさわらない やけどをする原因になります。 ●浴室など湿気の多い場所や、屋外で使用しない この器具は、非防水です。そのため火災や感電の原因になります。 ●LED 光源を直視しない 目を傷める原因になることがあります。</p>

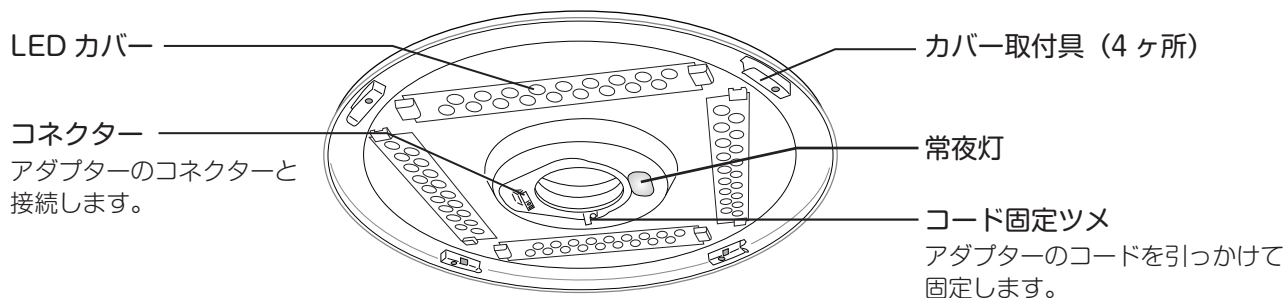
# 各部の名称

※図解の部品がすべてそろっていることを確認してください。

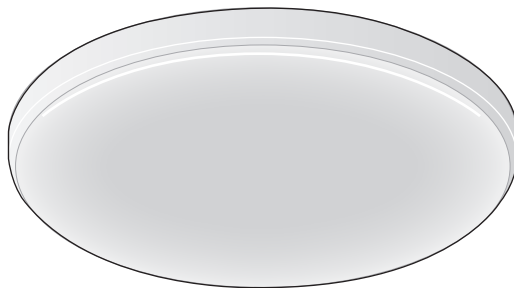
## 【アダプター】



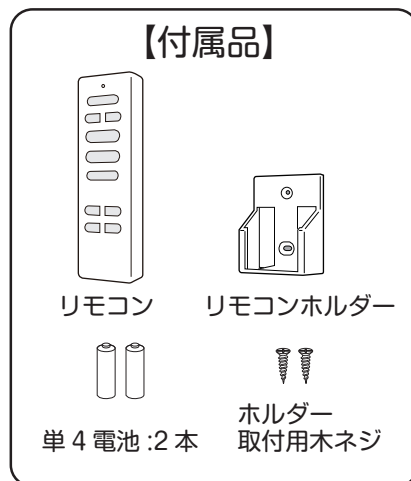
【本体】 本体裏のスポンジは、取り外さないでください。（本体の回転防止用です。）



## 【カバー】

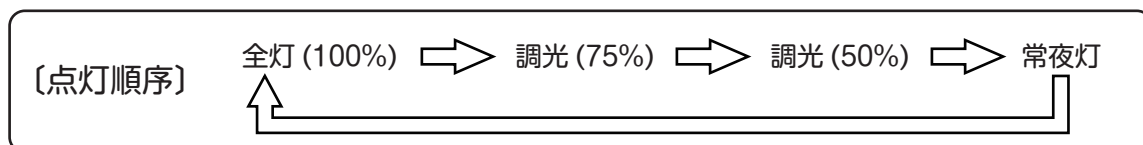


### 【付属品】



【壁面スイッチの操作】 リモコンが使用できないときにご活用ください。

- 点灯 →壁面スイッチ「ON」：LEDが明るさ100%で点灯します。
- 消灯 →壁面スイッチ「OFF」
- 点灯状態の切り換え→壁面スイッチが「ON」の状態から「OFF」にして、約2秒以内に「ON」にすると点灯状態が変わります。



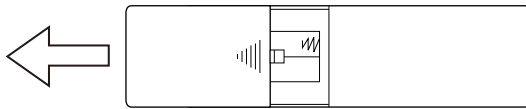
### 〔ご使用時の注意〕

- リモコンで消灯しても壁面スイッチが入っていると待機電力（約0.5W）を消費します。長期間使用しない場合は、節電のため壁面スイッチを切ってください。

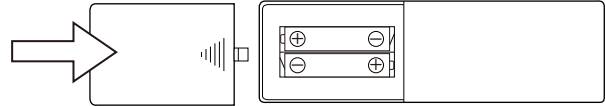
# リモコンの準備

## 1 リモコンに電池を入れる (付属の単4電池2本を入れてください。)

①フタを押さえながら矢印の方向にスライドさせて、取り外します。



②乾電池を図のような方向に入れて、元通りにふたをします。



注意

- 動作しにくくなったときは、新しい乾電池と取り替えてください。
- 種類の違う電池や新・旧を混ぜて使わないでください。
- 長期間使用しない場合は、必ず電池を取り外してください。

## 【リモコン各部の説明】

### 送信部

本体に向けて送信します。

### 明暗ボタン

- LED →長押し：連続で10段階  
単押し：10段階
- 常夜灯→単押し：4段階

### 常夜灯ボタン

常夜灯が点灯します。

### 30 オフボタン

30分後に消灯する切タイマーの設定を行います。

### 操作ランプ

ボタンを押すと点灯します。

### 設定ボタン

メモリの設定に使用します。

設定

暗<

明る<

全灯

消灯

常夜灯

30オフ

60オフ

メモリ1

メモリ2

### 全灯ボタン

LEDが明るさ100%で点灯します。

### 消灯ボタン

消灯します。

### 60 オフボタン

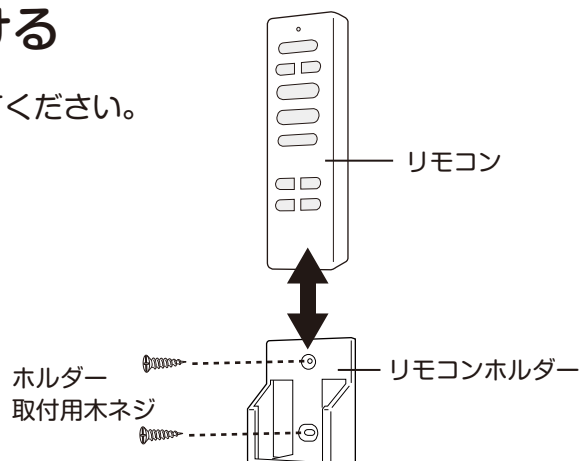
60分後に消灯する切タイマーの設定を行います。

### メモリボタン

メモリ点灯の設定を行い、2通りの点灯状態を記憶させることができます。

## 2 リモコンホルダーを取り付ける

付属の木ネジでリモコンホルダーを取り付けてください。



# 器具の取り付けかた

## 1 取り付け前に 一天井の配線器具を確認してください

- 安全のため、必ず電源を切ってください。
- 配線器具の交換が必要な場合は、工事店や電器店にご依頼ください。(交換には資格が必要です。)

### 取り付けできる配線器具



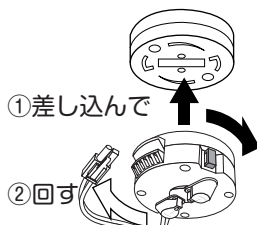
**警告**

配線器具が十分な強度で取り付けられているか確認してください  
落下してけがをする恐れがあります。

## 2 取り付け

### 1. アダプターを取り付ける

アダプターの引掛け金具を引掛けシーリングに取り付け、カチッと音がするまで回してください。



### 確認してください

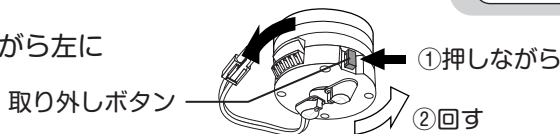
取り付け後、取り外しボタンを押さずに左に回して、外れないことを確認してください。



**警告** 取り付けが不完全な場合は、落下してけがの原因になります。

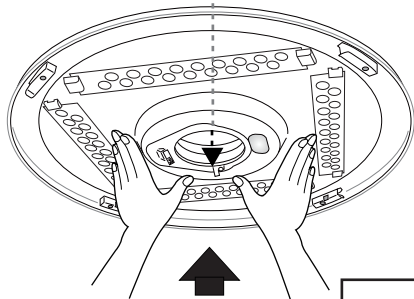
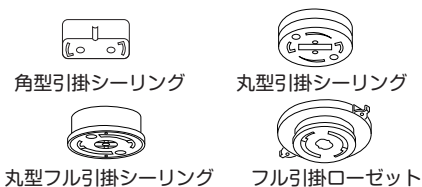
### 【取り外す場合】

取り外しボタンを押しながら左に回してください。



### 2. 本体を取り付ける

本体全体を持ってアダプターに合わせて押し上げてください。このときシーリングやローゼットの形状(厚み)によって1段、または2段押し上げます。



2回押し上げる

【取付後】

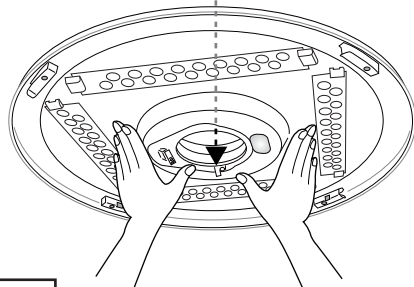
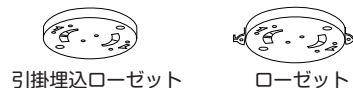
ツメが1段見える

### 注意

- ・押し上げるときLEDカバーに無理な力をかけないでください。
- ・アダプターのコネクターをはさまないでください。

### 警告

本体を確実に取り付けないと落下してけがの原因になります

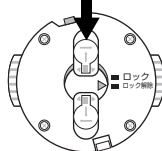


1回押し上げる

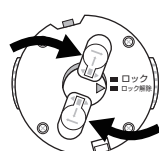
【取付後】

ツメがかかっている

### 【取り外す場合】



ハンドルを押してロックを解除してください。

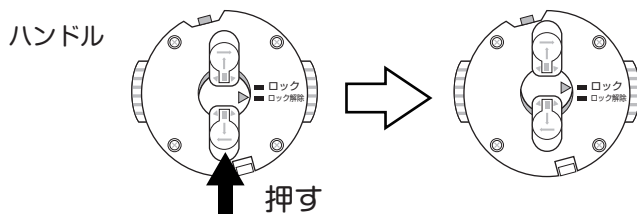


ハンドルを矢印方向に回して、ツメを外してください。

# 器具の取り付けかた

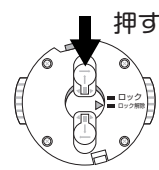
## 3. アダプターをロックする

本体の取り付け完了後、ハンドルを矢印方向に押ししてロックしてください。



### 〔解除する場合〕

ロック時と反対方向にハンドルを押してください。



警告

アダプターをロックしないと本体が落下してけがの原因になります。

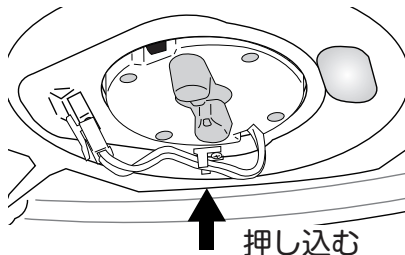
## 4. コネクターを接続してコードを固定する

- ①アダプター側コネクターを本体側コネクターにしっかり差し込んでください。



※コネクターには方向があります。  
コネクターの○と□を合わせてください。

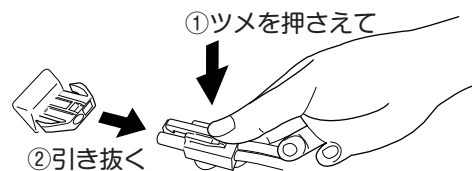
- ②コードをコード固定ツメに差し込んでください。



※コードを固定しないとカバーに影ができることがあります。

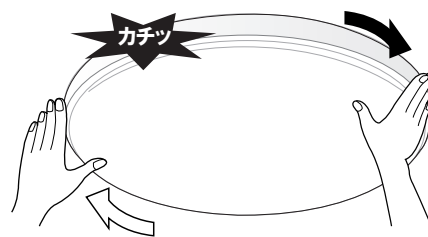
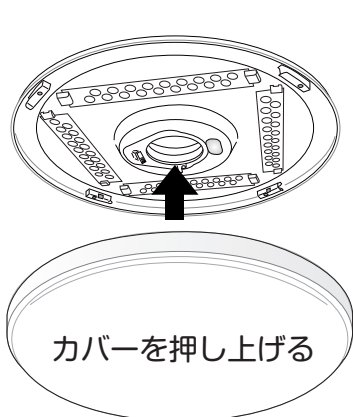
### 〔取り外す場合〕

アダプター側のコネクターのツメを押さえながら引き抜いてください。



## 5. カバーを取り付ける

カバーを取り付ける前に、LED カバーや常夜灯が外れたり、ゆるんでいないか確認してください。



両手でカバーを支えて、4ヶ所のカバー取付具にカチッと音がして止まるまで右に回してください。

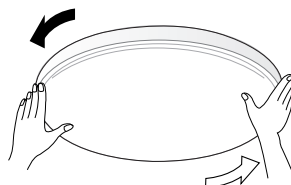


注意

カバーが確実にはまっていないと落下してけがの原因になります。

### 〔取り外す場合〕

両手でカバーを持って左に回してください。

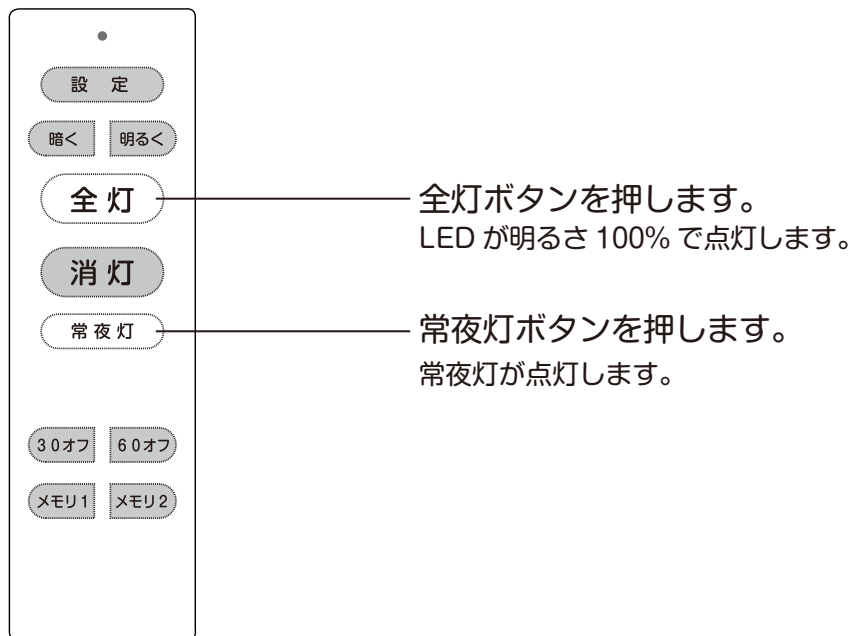




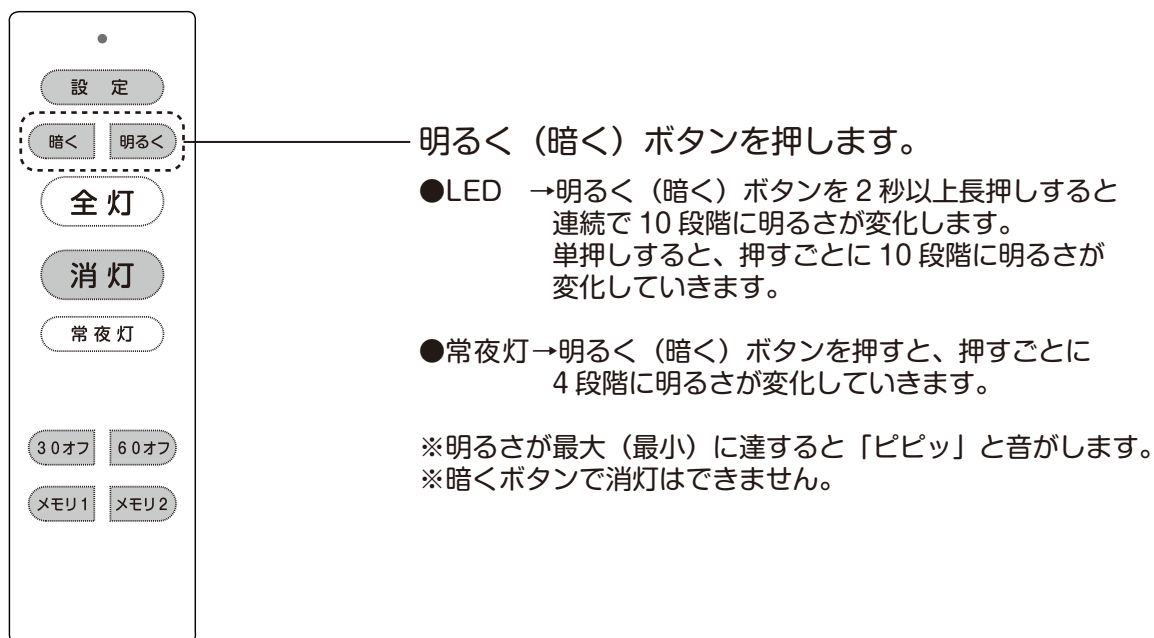
# リモコン操作

- 壁面スイッチが「ON」になっていることを確認してください。
- 送信部を本体に向けて操作してください。

## 1 点灯（消灯状態からの操作）



## 2 調光

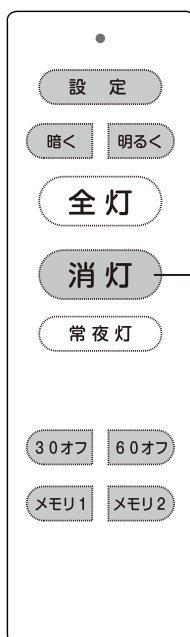


### お願い

- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。その際は電池を交換してください。
- リモコン送信部にキズをつけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、リモコンから電池を取り出してください。
- 直射日光に当たる場所や、暖房器具などの近くにリモコンを置かないでください。
- リモコンに衝撃を与えたり、水に濡らさないでください。

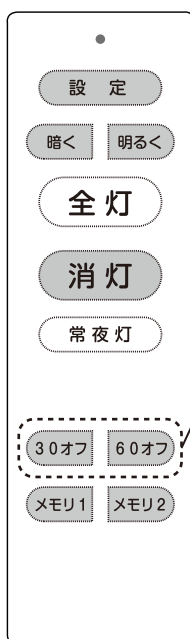
# リモコン操作

## 3 消灯



消灯ボタンを押します。  
どの点灯状態でも消灯します。

## 4 切タイマー



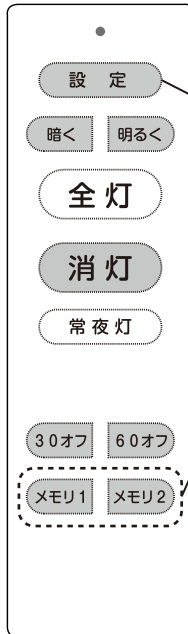
### 切タイマーボタン

30分後または60分後に自動的に消灯するよう設定できます。

- 点灯させた状態で、30オフボタンを押すと、「ピッ」と音がして設定され、30分後に消灯します。  
※もう1度押すと、設定が解除され、「ピー」と音がします。  
※60オフボタンを押すと、60分切タイマーに設定が変わります。
- 点灯させた状態で、60オフボタンを押すと、「ピッ」と音がして設定され、60分後に消灯します。  
※もう1度押すと、設定が解除され、「ピー」と音がします。  
※30オフボタンを押すと、30分切タイマーに設定が変わります。
- 切タイマーは消灯ボタンを押したり、壁面スイッチを「OFF」にすると解除できます。

# リモコン操作

## 5 メモリの設定



メモリボタンと設定ボタンを押します。

メモリ点灯の設定を行い、2通りの点灯状態を記憶させることができます。

### [ 設定手順 ]

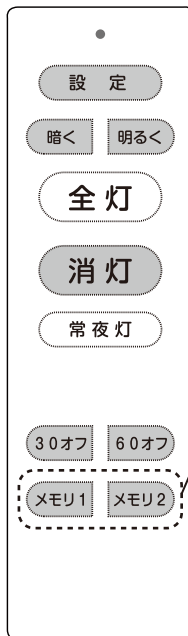
- ①点灯させて、お好みの明るさにします。
- ②設定ボタンを押してから、3秒以内にメモリ1ボタンを押すと記憶されます。

※メモリ2に記憶させるには、同様に

- ①点灯させて、お好みの明るさにします。
- ②設定ボタンを押してから、3秒以内にメモリ2ボタンを押すと記憶されます。

※常夜灯も記憶できます。

## 6 メモリ点灯



メモリ1ボタンまたはメモリ2ボタンを押します。

- メモリ1ボタンを押すとメモリ1に記憶した明るさで点灯します。
- メモリ2ボタンを押すとメモリ2に記憶した明るさで点灯します。



# お手入れ

必ず電源を切って、本体や器具が冷めてからお手入れをしてください。

- 明るく安全に使用していただくために、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃・点検をしてください。  
ダイニングやキッチンなどの汚れやすい場所は、年に4回程度を目安にして清掃を行ってください。
- 汚れは、乾いた布でふき取ってください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってからふき取って、その後乾いた布でふいてください。
- リモコン送信部がホコリなどで汚れると、リモコンの反応が悪くなります。定期的にお手入れしてください。

## ⚠ 注意

シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤などをかけない  
変色や破損の原因になります。

# ご使用についてのお知らせ

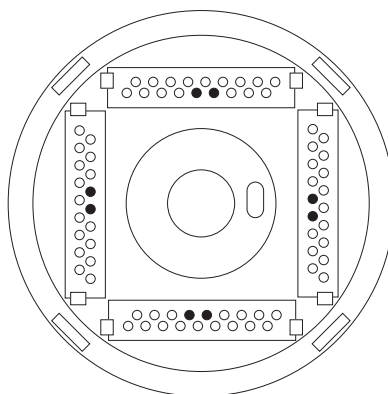
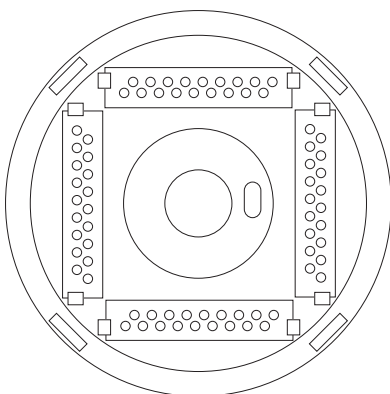
- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるキシミ音が発生することがあります。
- LED 照明は、同じ型番のものでも発光色や明るさが異なることがあります。
- ラジオやテレビなどの機器は、なるべく本体から離してください。雑音が入ることがあります。
- 他のリモコン機器の近くでは、リモコンが動作しにくいことがあります。
- 天井や壁の材質によっては、リモコンが操作しにくくなることがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- カバーと本体のすき間から虫やホコリが浸入することがあります。
- リモコンで消灯しても、約 0.5W の電力を消費しています。長期間使用しない場合は、壁面スイッチを「OFF」にしてください。
- 停電復帰時や短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹出口の近くや温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブなどの発熱機器や温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- カバーを外してお手入れを行う際は、落下によるけがや破損などにご注意ください。

## 【LED 点灯箇所について】

LC-E12 : 18 灯 × 4

LC-E06/LC-E08 : 16 灯 × 4

※図の黒色部分の LED は点灯しません。



# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

点灯しない

- コネクターが緩んでいませんか。  
→確実に取り付けてください。
- 壁面スイッチを「OFF」にしていませんか。  
→壁面スイッチを「ON」にしてください。

リモコンが操作  
できない

- 壁面スイッチを「OFF」にしていませんか。  
→壁面スイッチを「ON」にしてください。
- 電池は入っていますか。  
→単4乾電池2個を入れてください。
- 電池が消耗していませんか。  
→新しい電池を入れてください。
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか。  
→障害物を移動させるか、避けてください。

いつもと明るさが  
違う

- 停電などで点灯状態が変わった可能性があります。  
→リモコンや壁面スイッチで点灯状態を切り換えてください。

勝手に消灯する

- 切タイマーを設定しませんでしたか。  
→切タイマーを解除してください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、壁面スイッチを「OFF」にして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

## 仕様

品番	消費電力	器具光束	電源	待機電力	本体寸法	本体質量
LC-E06	32W	3500lm	AC100V 50/60Hz	0.5W	Φ500mm×H95mm	約 1.7kg
LC-E08	38W	4200lm				
LC-E12	50W	5000lm				

※器具光束は、最大点灯時です。

※LED モジュールの設計寿命は、約 40,000 時間です。LED が点灯しなくなるか、光束が 70%に低下するまでの、いずれかの短い時間を推定したもので、製品寿命を保証するものではありません。

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

# 安全チェックシート（住宅用照明器具）

- 安全のために1年に1回は点検をおすすめします。  
あらかじめ点検時期を決めておき、忘れないようにしてください。
- 下欄の安全項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に✓印を記入し、それぞれの処置に従ってください。

## No.1

安全点検項目	点検年月	点検結果					処置
		／	／	／	／	／	✓印がある場合はそれぞれ処置してください。
1. スイッチを入れても、点灯しないときがある							危険な状態のため、すぐに使用を中止し、新しい器具に交換してください。
2. コネクター、コード、本体を動かすと点滅する							
3. コネクター、コードが異常に熱い							
4. 焦げくさい臭いがする							
5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある							
6. コードや配線部品に傷み、ひび割れ、変形がある							
7. 器具取付部に変形、がたつき、ゆるみがある							
1. 購入後、10年以上経過している							危険な状態になっていることがあるため、すぐに使用を中止し、新しい器具に交換するか継続的に点検してください。
2. カバーなどに変色、変形、ひび割れがある							
3. 塗装面に膨れ、ひび割れ、さびが出ている							

## No.2

安全点検項目	点検年月	点検結果					処置
		／	／	／	／	／	✓印がある場合はそれぞれ処置してください。
1. スイッチを入れても、点灯しないときがある							危険な状態のため、すぐに使用を中止し、新しい器具に交換してください。
2. コネクター、コード、本体を動かすと点滅する							
3. コネクター、コードが異常に熱い							
4. 焦げくさい臭いがする							
5. 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある							
6. コードや配線部品に傷み、ひび割れ、変形がある							
7. 器具取付部に変形、がたつき、ゆるみがある							
1. 購入後、10年以上経過している							危険な状態になっていることがあるため、すぐに使用を中止し、新しい器具に交換するか継続的に点検してください。
2. カバーなどに変色、変形、ひび割れがある							
3. 塗装面に膨れ、ひび割れ、さびが出ている							

上記点検項目以外でも異常がある場合は、販売店やお客さま相談窓口にご相談ください。